

---

# ある日

境 鏡介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある日

### 【著者名】

境 鏡介

N1364E

### 【あらすじ】

ある日、アパートの一室で起つた不可解な出来事。

へやの中にはいました。  
へやの中に2人いました。

へやのすみにたおれていたのは女人でした。  
そばに立っていたのは男の人でした。

男の人はいき切れをしていました。  
女の人はいませんでした。

女の人は男の人によろされました。  
男の人は女の人をころしました。

男の人のワイシャツはあおい色でした。

せ中とわきは汗をかいていたのでくろい色になっていました。

女の人のワンピースは白い色でした。  
せ中の辺りは包丁がささっているので赤い色でした。

男の人はうでどけいを見ました。

3じでした。

男の人はへやの中をうごき回りました。

へやは女人のアパートでした。

へやは本だながありました。

へやはベッドがありました。

へやはかがみがありました。

へやはテレビがありました。

へやはデスクがありました。

へやはテーブルがありました。

デスクの上のかべにはエアコンがありました。

テーブルの上にはすいみんやぐがありました。  
男の人はエアコンをつけました。  
だん房でした。

34どでした。

へやから出るとみじかいろう下がありました。

左がわにはキッチンがありました。

右がわにはドアが2つありました。

1つはトイレのドアでした。

1つはおふろのドアでした。

ろう下の先は玄かんでした。

玄かんにはげたばこがありました。

げたばこの上にはロープがありました。

男の人はロープをもってへやにもどりました。

男の人はテーブルにロープをおきました。

男の人はデスクの上にあつたはさみをもちました。

男の人はデスクのいすをベッドの近くにうごかしました。

男の人は女の人をかかえるといすにすわらせました。

男の人は女の人のワンピースのスカートがめくれていたのをなおしました。

男の人は女の人のかみの毛をブラシでとかしました。

男の人はロープをもちました。

男の人はベッドの上に立つとロープを天井のけい光灯のコードにとおしました。

男の人はロープのはしを女の人のひざの上におとしました。

男の人はロープを目のたかさではさみで切りました。

男の人はあまたロープのたばを元のところにもどしました。

男の人は女の人の左手にひざの上のロープをにぎらせました。

男の人はテレビをつけました。

テレビドラマのさいほうそうをやっていました。

男の人はドラマを見ました。

ドラマがおわってニュースがはじまりました。

男の人は女人の左手をさわりました。

男の人はロープをしつかりとにぎりなおさせました。  
男の人はニユースを見ました。

ニユースがおわってバラエティばんぐみがはじまりました。  
男の人はトイレに行きました。

トイレからかえると男の人はバラエティばんぐみを見ました。

バラエティばんぐみがあわると男の人はへやから出ていきました。  
へやにかぎがかけられました。  
だんぼうはついたまでした。

3じかんごに男の人がかえつてきました。  
男の人はげつぶをしました。  
男の人はけい光灯をつけました。  
女の人のせ中はくろくなつていきました。  
男の人はわきにはさんでいたレンタル・ビデオてんのふくろから  
ディーブイディーを出しました。  
さいほうそうしていたテレビドラマのディーブイディーでした。  
男の人はディーブイディーをプレーヤーにいました。  
男の人はディーブイディーを見ました。

ディーブイディーを見おわると男の人はディーブイディーをプレーからとり出しました。  
男の人は女の人の左手をさわりました。  
男の人はロープをすこし引っぱりました。  
ロープはぬけませんでした。

男の人は女の人のせ中からほつちゅうをぬきました。  
ほうちゅうはくろくなつていきました。

男の人はほうちゅうをテーブルの上におきました。

男の人はめざましじけいを見ました。

2じでした。

男の人はへやから出でていきました。  
けい光灯はつけたまでしました。

男の人はへやから出でていきました。

男の人は「じかん」にかえつてきました。

男の人はレンタル・ビデオてんのふくろをもつていました。  
ふくろにはテレビドラマの「ティーブイディー」のつづきが入つて  
いました。

男の人はプレーヤーに「ティーブイディー」をいました。

男の人は「ティーブイディー」を見ました。

男の人は「ティーブイディー」を見おわりました。

男の人はテレビのチャンネルをかえました。

ニュースをやつしていました。

男の人はテレビのとけいを見ました。

7じでした。

男の人はあぐびをしました。

男の人は「ティーブイディー」をふくろに入れました。

男の人は2つふくろをもつと立ち上がりました。

男の人はけい光灯をけしました。

男の人はへやから出でていきました。

テレビはつけたまでしました。

2じかんたつと男の人はかえってきました。

男の人は缶コーヒーをのんでいました。

男の人はあつそうに手でかおをおきました。

男の人はベッドの上に立つとロープをかるくひきました。

男の人はロープは女の人の手からぬけませんでした。

男の人はテーブルの上のすいみんやくのみました。

7じょうのみました。

男の人は缶コーヒーをテーブルの上におきました。

男の人はほうちょうをテーブルからとり上げました。

男の人はくつ下をぬぐとベッドの上に立ちました。

男の人はほうちょうをロープにしばりつけました。

男の人はベッドにねころがりました。

男の人のま上でほうちょうがゆれていきました。

男の人はねむつてしましました。

3じになりました。

テレビドラマのさいほうそがはじまりました。

男の人はねむつしていました。

女の人の手からロープがぬけました。

ほうちょうがおちました。

まっすぐに下におちました。

男の人ののどにおちました。

血が出ました。

シーツが赤くなりました。

男の人は目をさましませんでした。

男の人はいきをしていませんでした。

女の人は1日まえからいきをしていませんでした。

男の人は自分がころした女の人にころされました。

女の人は自分をころした男の人をころしました。

へやの中には2つの中身がありました。  
へやの中には2つの中身がありました。  
もうなんにもしていませんでした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1364e/>

---

ある日

2010年10月8日15時12分発行